

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	高梁市立有漢中学校	実践者名	塚本 海斗
教科	国語科	学年	第1学年
活用内容	スピーチの発表 遠隔交流、アドバイス	実践日	令和3年10月19日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	GIGA 有漢&美星 リモートでスピーチにアドバイス！！ 教材「話の構成を工夫しよう 好きなものを紹介する」		
活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）			
<p>【前時まで】有漢中学校と美星中学校で、リモート接続（Meet）を行い、自己紹介を行った。その後、本時のスピーチに向けて、各校でスピーチのテーマや構成等を確認し、メモにまとめた。</p> <p>【本時】</p> <p>(1) 学習活動の流れを確認し、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>スピーチをよりよくするためにアドバイスし合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員用の端末同士を Meet で繋ぎ、各教室が見えるようにしておく。 ・ スピーチは、グループごとの Meet を開いて行う。 ・ 全体に向けて授業の流れを説明した後に、グループの Meet に移る。 ・ 誕生日順にスピーチの順番を決める。 <p>(2) 各グループでスピーチを行い、その発表に対してアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ（1分）→アドバイス（3分）の順に、必ず一人一度は発言するようにさせる。 ・ アドバイスは、事前に配付しているワークシートに書き込んでおく。 <p>(3) 接続を終了し、学習のまとめと振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイスを構成メモに反映させ、スピーチの改善を行う。 			
実践者の手ごたえ		児童生徒・保護者等の主な反応や声	
<p>小規模校同士を遠隔授業でつないだことによって、一定の人間関係を越えて意見交流ができるため、生徒も新鮮な様子であった。発表会ではもらったアドバイスを活かし、堂々と発表できていた。</p>		<p>（生徒から） 「アドバイスをし合ったときに、普段とは違う人からのアドバイスだったので、新鮮だったし、とても勉強になった。」</p>	

